

軽油缶



コダマの軽油缶は
「UNマーク」取得済

厳しい検査に合格した製品にのみ与えられる危険物輸送容器の国際規格、それが「UNマーク」です。

- 落下に対して抜群の強度を誇り、破損及び液漏れがありません。
- 積み重ね荷重に対する耐久性に優れています。
- ハイレベルな気密性により空気漏れがなく、事故を防止します。
- 水圧に対する耐久性に富み、口栓部などからの漏れもありません。

UNマークは「確かな安全」を約束する品質保証。コダマの軽油缶は、その厳しい試験をクリアした、日本初のポリエチレン製軽油専用UN容器です。※当社調べ

持ち運びらくらく

5L タイプ



あると安心

20L タイプ



<https://ecoleaf-label.jp>
JR-AF-20001E



1缶あたり
<https://ecoleaf-label.jp>
JR-AF-20001C



品名	品番	サイズ	口径	入数	ノズル
5L軽油缶	KN-456	W160×L285×H213	Φ38	10缶	無(別売)
20L軽油缶	KH-235	W247×D352×H349		4缶	付



コダマ樹脂工業株式会社



5L缶新登場!
手軽に持ち運べる
軽油缶



コダマの軽油缶は SuMPO・CFP の宣言製品

SuMPO 環境ラベルプログラム

Japan EPD Program by SuMPO



LCA (ライフサイクルアセスメント) の手法を用いて、原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまで、製品のライフサイクルステージ全体における環境影響 / CO2 排出量を表示するエコリーフ宣言 / CFP 宣言を登録公開しました。



<https://ecoleaf-label.jp>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



Kodama Plastics co.,Ltd
コダマ樹脂工業株式会社

<http://www.d-kjk.co.jp> コダマ樹脂 検索

手元にあると
いざという時
安心!

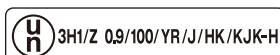


たとえば、
農作業。

軽油缶の安全・安心チェックポイント

購入時

- ① UNマークが容器に付いていることを確認
UN マークは国際的な容器検査基準に合格した証です。



- ② 容器に刻印された製造年月を確認する
軽油缶には製造年月が表示されています。
安全にお使い頂くために、使用年数のご確認をお勧めします。



使用時

軽油を入れる前

- ① 軽油以外ガソリン・灯油などは絶対に入れない。
- ② 軽油缶の中が“空”である。
- ③ 軽油缶の容量を確認する。
- ④ 全てのキャップの内側に正しくパッキンが付いている。

軽油を入れた後

- ① 軽油を容器に入れた後、挿入口キャップの締め忘れに注意する。
- ② ノズル・給油ポンプなどは適切に使用する。

保管時

- ① 軽油を入れた容器を2段階みにしない。
- ② 以下の場所では容器の保管を避け、冷暗所などに置く。
直射日光が当たる場所 / 火気の近く / 転倒しやすい不安定な場所 / 密閉された車内や室内
- ③ 保管温度は、40℃を超えないようにする。
- ④ 軽油はなるべく早く使用し長期保管は避ける。
- ⑤ 長らく使用しない時は、軽油缶の中身を“空”にして、風通しの良い日陰や冷暗所など直射日光や紫外線の当たらない場所に保管する。紫外線によって短期間に劣化して容器の強度が落ちます。

廃棄時

- ① 製造から5年を目安に取り替える。
- ② 5年の経過前であっても、ひび割れ、色あせなどが見られる場合は取り替える。
- ③ 廃棄処分は、軽油が残留していないことを確認し、各自治体のプラスチック製(ポリエチレン製)容器の処分ルールに従って処分する。
- ④ プラスチック海洋ごみにならないよう適切な廃棄処分を行う。

軽油缶ご使用上の注意

軽油缶には、取扱いの注意事項の表示とラベルが貼られています。
よく読んで安全にお使いください。

●引火防止のため、容器を火気から2m以上離してください。●直射日光を避けてください。短期間に劣化して強度が落ちます。●容器は普通に使用していても、紫外線などで徐々に劣化します。事故防止のため、5年以上の使用は避けてください。●ガソリン・軽油・飲料水などを入れることは、事故の原因となりますので、絶対に止めてください。

※令和5年5月現在の法規、仕様であり、改定されることがあります。



商品のお問合せ

0584-27-0550

〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1